

# 食品産業の持続的な発展に向けた検討会 環境等配慮PT第2回

## 明治グループの取り組み

2023年11月2日

明治ホールディングス株式会社

## 1. 明治グループの概要

## 2. 責任あるサプライチェーンの構築

### メイジ・カカオ・サポート

#### 3. カカオ産地における主な社会課題

#### 4. 持続可能なカカオ豆生産に向けて

#### 5. カカオに関わる全ての人の笑顔のために

## 6. メイジ・デイリー・アドバイザー

## 7. 酪農におけるGHG排出量削減に向けた取り組み

## 8. 酪農のサプライチェーン持続可能性のために

### <参考> 持続可能な調達活動

# 1. 明治グループの概要

100年以上前から「人類共栄」の考えのもと、創業の精神に「栄養報国」を掲げ、食、薬、栄養を通して、**人々の心身ともに健康な生活に貢献するための活動**を行う。

1916

創業

明治製菓

明治乳業



2009

経営統合

2011

事業再編

明治HD

明治

Meiji Seika ファルマ

K Mバイオロジクス

# 1. 明治グループの概要

明治グループの事業は、「乳製品」「チョコレート」「ニュートリション」「医薬品」などの幅広いラインアップを有し、**豊かな自然の恵みの上に成り立っている。**

## 乳製品



ヨーグルト・プロバイオ



牛乳



チーズ



アイスクリーム

## チョコレート・グミ



チョコレート

グミ

## ニュートリション



粉ミルク

栄養食品

スポーツ

## 医薬品・ワクチン



感染症薬

ジェネリック  
医薬品

ワクチン

中枢神経用薬

## 2. 責任あるサプライチェーンの構築

企業は「公正かつ自由な競争ならびに適正な取引、責任ある調達を行う」ことが国際的に求められています。その実現には、自社のみならず取引先を含む**サプライチェーン全体**で**社会課題に取り組む**必要があります。

### サプライヤーマネジメントの推進

明治グループは、サプライヤーへの「**サステナブル調達アンケート**」によりサステナビリティリスク評価を行い、リスクの懸念があると考えられるサプライヤーには改善の要請や直接対話による**エンゲージメント**を行っています。

サステナブル調達アンケート / サプライヤーエンゲージメント実施状況

| 2020年度                       | 2021年度                                                                   | 2022年度                                                                         |
|------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|
| アンケート                        |                                                                          |                                                                                |
| <b>国内</b> サプライヤー： <b>74社</b> | <b>国内</b> サプライヤー： <b>31社</b><br>(累計105社が実施)<br>(株)明治の委託仕入先企業： <b>46社</b> | <b>国内</b> サプライヤー： <b>16社</b> (再評価を実施)<br><b>海外</b> サプライヤー： <b>17社</b>          |
| エンゲージメント                     |                                                                          |                                                                                |
|                              |                                                                          | <b>国内</b> 主要原材料サプライヤー： <b>7社</b><br>取り組み強化もしくは改善が必要と<br>考えられるサプライヤー： <b>5社</b> |

## 3. カカオ産地における主な社会課題

チョコレートの原料であるカカオの持続可能な調達を実現するには、  
**カカオ産地における社会課題の解決**が不可欠。

近年、企業はサプライチェーン全体における  
**気候変動、森林減少・生物多様性の毀損、人権課題(強制労働・児童労働)**など  
社会課題解決への取り組みが強く求められている。



### 3. カカオ産地における主な社会課題

カカオ産地での社会課題解決の根幹は、**生産者の生計維持**。

#### 社会課題 1 児童労働



#### 社会課題 2 森林減少





## 4. 持続可能なカカオ豆生産に向けて

外部パートナーと連携しながら、**明治独自のカカオ農家支援活動を推進。**





## 4. 持続可能なカカオ豆生産に向けて

2006年より「メイジ・カカオ・サポート」世界9カ国で展開

### Meiji Cocoa Support

メイジ・カカオ・サポート

- 特長** 明治独自の「カカオ農家支援活動」
- 各内容**
- ・ カカオ豆の品質向上への技術支援
  - ・ カカオ農家の生活支援、
  - ・ 地域の環境保全・回復など
- 結果** 社会課題解決により持続可能なカカオ豆生産に貢献



**GHANA**  
ガーナ共和国



**VIETNAM**  
ベトナム社会主義共和国



**MADAGASCAR**  
マダガスカル共和国



**MEXICO**  
メキシコ合衆国



**DOMINICAN REP.**  
ドミニカ共和国



**ECUADOR**  
エクアドル共和国



**PERU**  
ペルー共和国



**VENEZUELA**  
ベネズエラ・ボリバル共和国



**BRAZIL**  
ブラジル連邦共和国

## 4. 持続可能なカカオ豆生産に向けて

### カカオ産地での**技術支援**



発酵箱をかき混ぜる工程



ファーマートレーニング  
スクールの開催



苗木センターの開設

## 4. 持続可能なカカオ豆生産に向けて

### カカオ産地での生活支援



井戸の寄贈



学校備品の寄贈



アートスクールの開催

## 4. 持続可能なカカオ豆生産に向けて

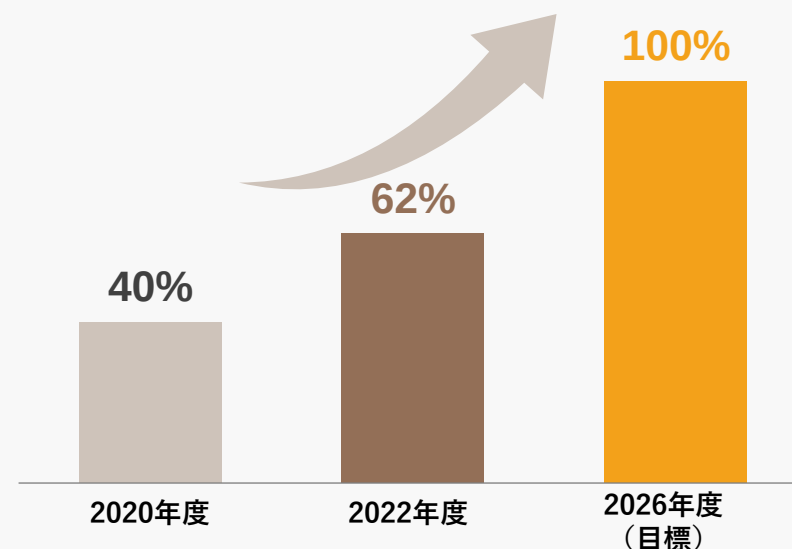
明治サステナブルカカオ豆調達比率**2026年度100%を目指す**

明治サステナブルカカオ豆とは…

メイジ・カカオ・サポートを通じ、  
農家支援を実施した地域で  
生産されたカカオ豆



〔明治サステナブルカカオ豆調達比率推移〕





## 4. 持続可能なカカオ豆生産に向けて

森を再生する農業「アグロフォレストリー農法」への支援

環境配慮型商品「明治アグロフォレストリーミルクチョコレート」販売



meiji AGROFORESTRY  
MILK CHOCOLATE

明治アグロフォレストリー  
ミルクチョコレート

商品としての  
価値提供



## 4. 持続可能なカカオ豆生産に向けて

ガーナにおいて

調達先の農家へ**森林の保護・回復に関する情報提供**、農業生産工程に関する教育を実施。  
現地パートナーと協業し、調達先の農園が**森林保護区へ関与していないかモニタリング**。  
カカオ農園に各種シェードツリーの苗木を配布して**アグロフォレストリー**を推進。



スマートフォンを持って農園の境界を歩いて、GPSにてマッピング。圃地範囲を特定し、森林保護区に関与していないか確認

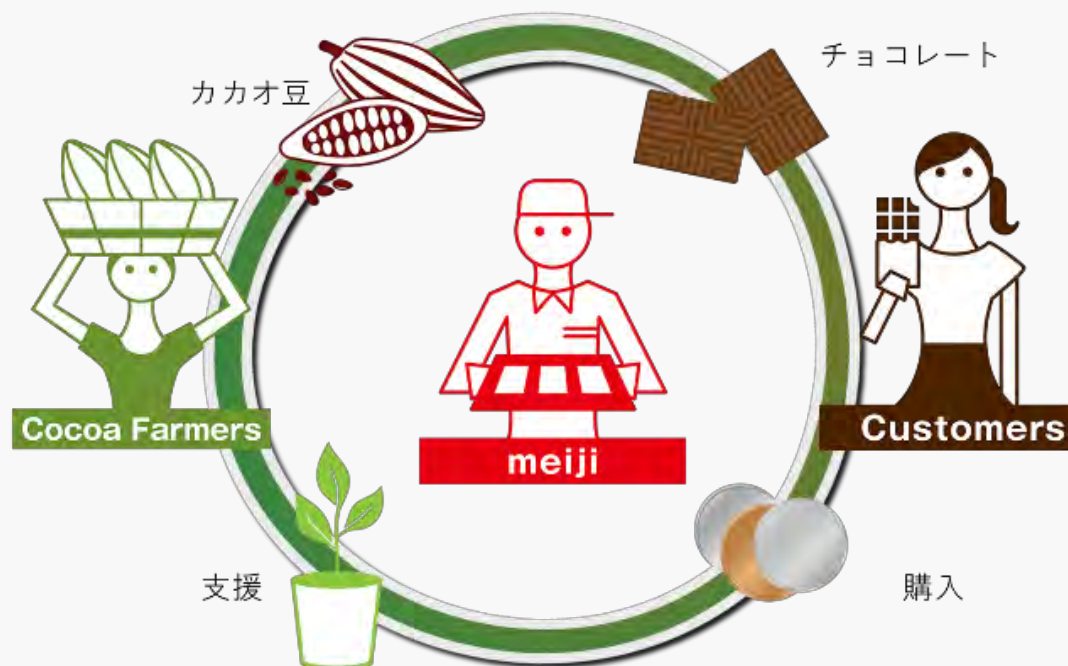


シェードツリーの苗木。成長したらカカオ農園に植栽されます



## 5. カカオに関わる全ての人の笑顔のために

明治グループは、カカオ農家やお客様と連携し、社会課題を解決することで  
**持続可能なカカオサプライチェーンの構築**を図ります。



## 6. メイジ・デイリー・アドバイザー

### 持続可能な酪農経営を支援するメイジ・デイリー・アドバイザー

大事な栄養源である牛乳を、安全安心に、安定的に提供し続けるために、全国の酪農家への**経営支援活動**を行っています。



・明治グループの専門チームが“農場のあるべき姿（理念・目標）”を経営者と一緒に考え、“目標達成には何が必要か”“どう達成するか”などを農場スタッフが議論する、気づきの場をサポートします。

・持続可能な酪農経営に向けて、必要な改善を行うことを習慣化するという「カイゼン文化」が自然に定着し、自走できる仕組みを目指します。

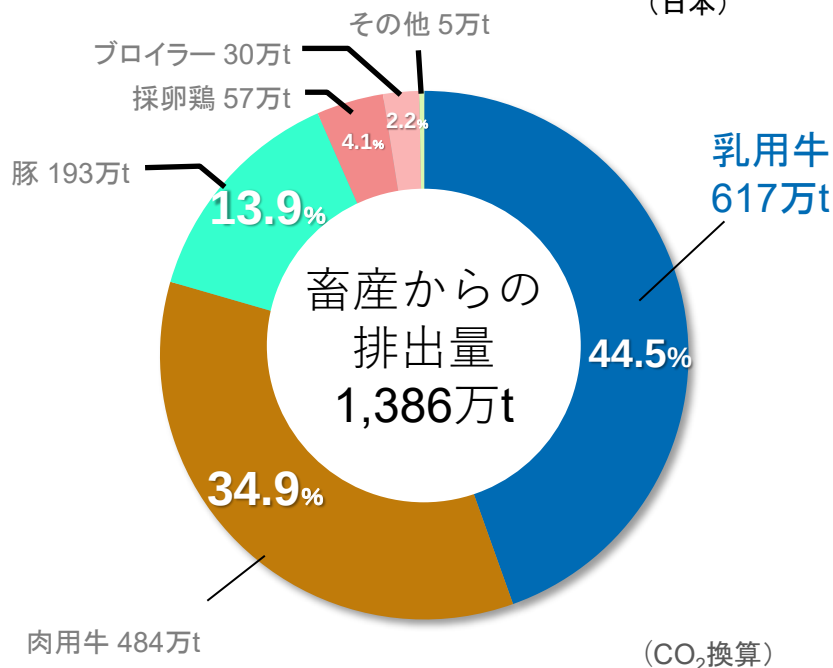
MDAは、農場のサステナブルな酪農経営実現に向けて、「人材マネジメント」だけでなく、「人権」「アニマルウェルフェア」「温室効果ガス」といった**社会課題の解決**にも取り組んでいきます。

# 7.酪農におけるGHG排出量削減に向けた取り組み

## 生乳におけるGHG排出について

畜産全体に占めるGHG排出量の構成

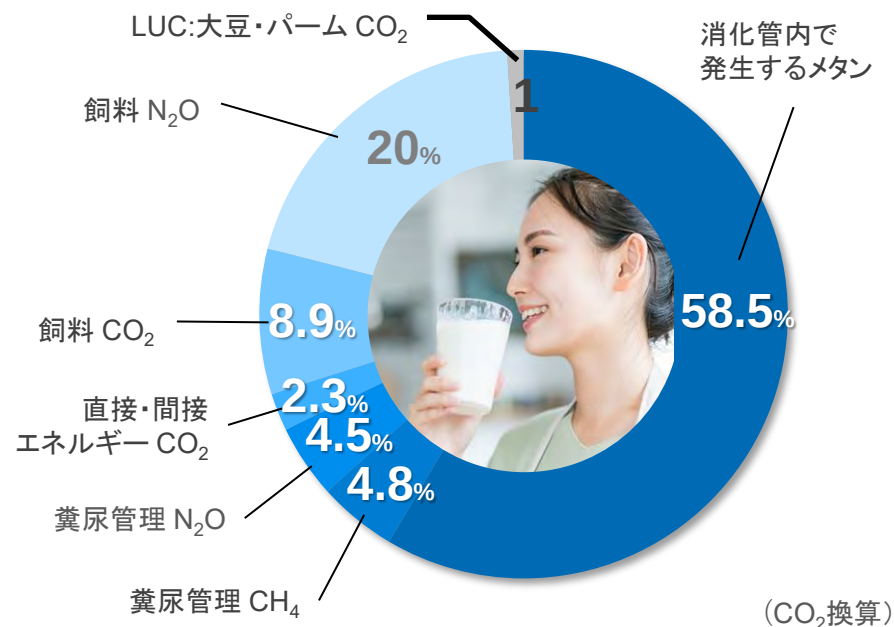
(日本)



出典:農林水産省「畜産・酪農をめぐる情勢」を基に作成

生乳におけるGHG排出量の構成

(世界)



出典:国連食糧農業機関およびグローバル・デリー・プラットフォーム「気候変動と世界の乳牛セクター 将来の低炭素社会における酪農乳業セクターの役割」(2018年)

## 7.酪農におけるGHG排出量削減に向けた取り組み

### CFP（カーボンフットプリント）算定

調酪農乳業における地球温暖化の影響を軽減することを目指し、どこでどのくらいのGHGが排出されているかを明らかにすることから始めています。

**酪農家から収集したデータ**（生乳生産量、乳成分、飼養頭数、飼料種類、耕作面積、電気、軽油等使用エネルギー量など）をもとに、「**明治オーガニック牛乳**」の**CFP算定**を実施しました。

#### 各工程におけるCFP算定結果

上流段階で発生している  
GHG排出量が

全体の **91%**  
を占める

オーガニック牛乳1本  
に占める排出量の構成



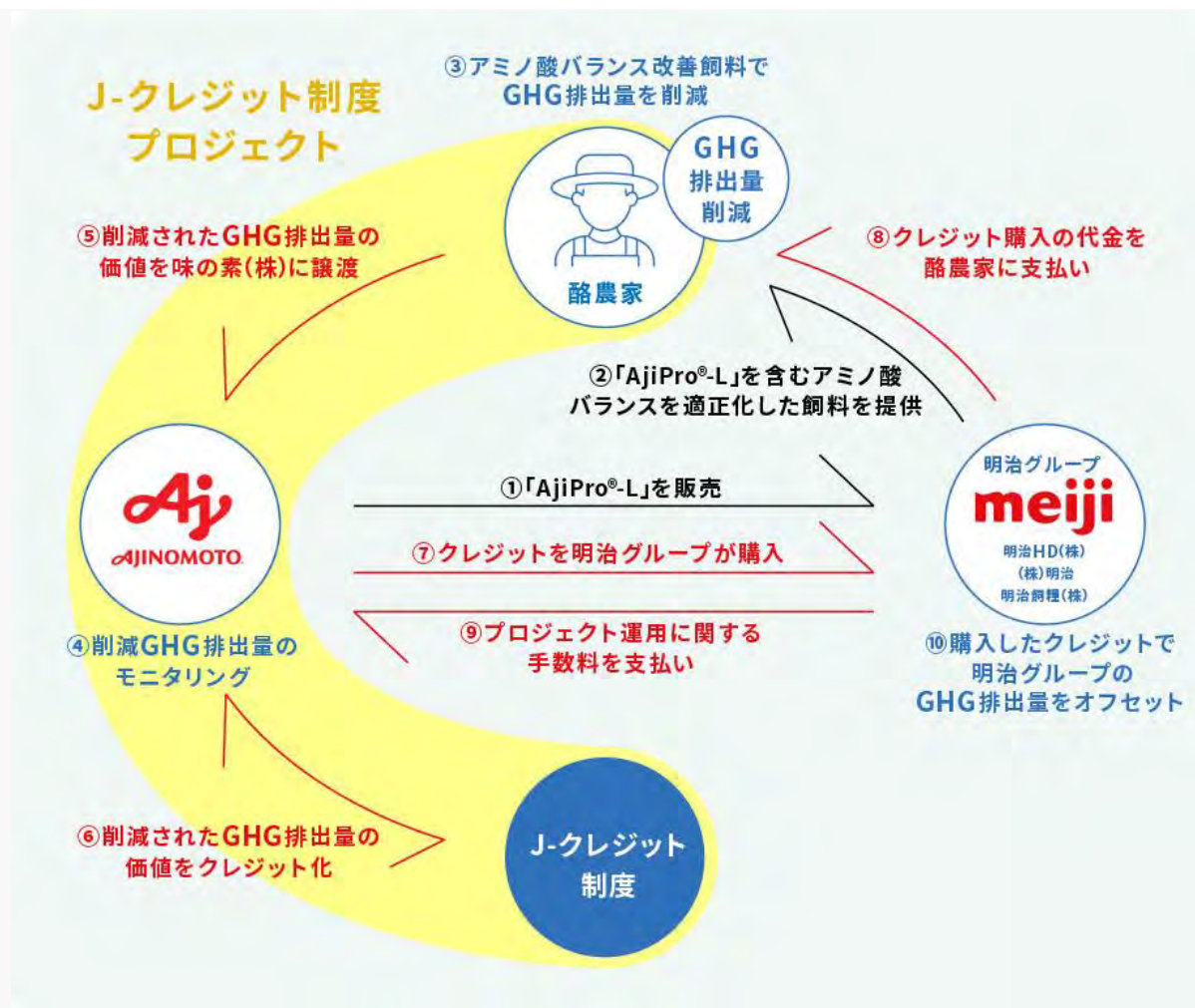
※「明治オーガニック牛乳」にて算定した数値になります。



## 7.酪農におけるGHG排出量削減に向けた取り組み

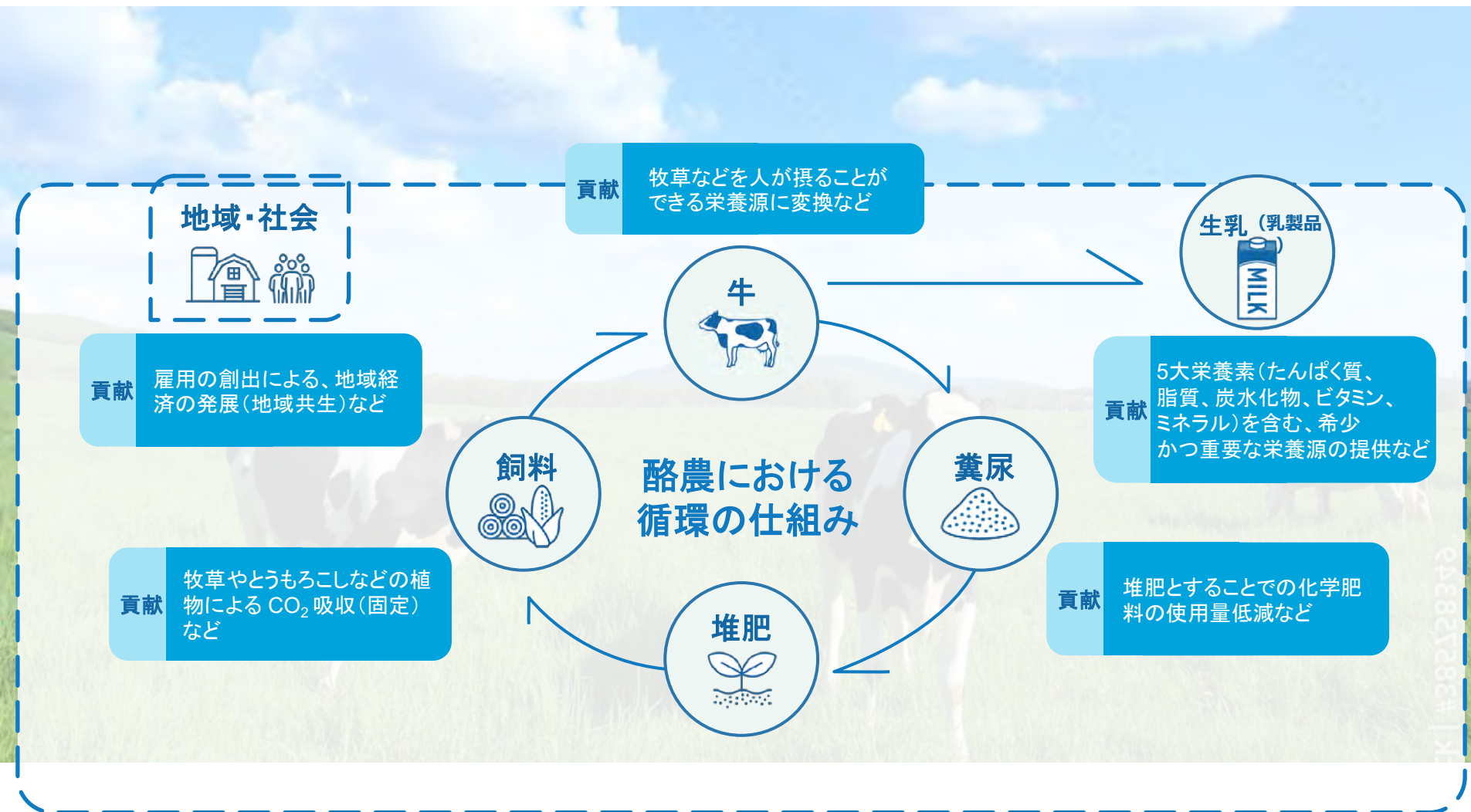
### J-クレジット制度を活用したビジネスモデル

酪農におけるGHG削減に向けて乳牛の糞尿由来のGHG排出削減とその価値化を目指します。





## 8.酪農のサプライチェーン持続可能性のために



## < 参考 > 持続可能な調達活動

明治グループでは取引先と協働で、**社会的責任に配慮した原材料の調達活動**に取り組んでいます。

### ■ パーム油

2016年に**RSPO**（持続可能なパーム油のための円卓会議）に加盟し、2022年10月までに国内18工場、海外5工場で**RSPOサプライチェーン認証**を取得しました。2022年度に調達したパーム油の90%は、マスバランス方式によって物理的に認定された**RSPO認証パーム油**です。

|                       | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|-----------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| RSPO認証パーム油の割合<br>(%)※ | 7      | 21     | 68     | 84     | 90     |

\* 国内および海外明治グループの  
工場で調達する油脂原料に占める  
認証パーム油の割合

### ■ 紙

製品の容器包装や各種印刷物などで、**FSC®やPEFCなどの森林認証を受けた紙など**環境配慮紙の使用拡大を進めています。2022年度内で98%（国内グループ全体では100%）の切替が完了しました。

|                                     | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|-------------------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 森林認証紙(FSC, PEFC)および古紙を含む紙原材料の使用率(%) | 55     | 60     | 77     | 98     | 98     |

\* 製品の容器包装用紙が対象。  
\* 2020年度までは国内グループ会社  
が対象（2019年度よりKMバイオロ  
ジクス（株）を含む）。2021年度より  
グループ全体が対象。

健康にアイデアを  
**meiji**